

JIS

プラスチック—比較可能な
マルチポイントデータの取得と提示—
第3部：特性への環境影響

JIS K 7141-3 : 2002

(ISO 11403-3 : 1999)

(JPIF/JSA)

平成 14 年 8 月 20 日 制定

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 化学製品技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	宮 入 裕 夫	東京医科歯科大学
(委員)	大 久 泰 照	昭和シェル石油株式会社
	奥 山 通 夫	社団法人日本ゴム協会
	笠 野 英 秋	拓殖大学
	加 茂 徹	独立行政法人産業技術総合研究所
	木 原 幸 弘	社団法人日本化学工業協会
	桐 村 勝 也	社団法人日本塗料工業会
	高 野 忠 夫	財団法人化学技術戦略推進機構
	高 橋 信 弘	東京農工大学
	西 川 輝 彦	石油連盟
	西 本 右 子	神奈川大学
	古 川 哲 夫	財団法人日本消費者協会
	堀 友 繁	財団法人バイオインダストリー協会
	楨 宏	日本プラスチック工業連盟

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 14.8.20

官 報 公 示：平成 14.8.20

原 案 作 成 者：日本プラスチック工業連盟

(〒106-0032 東京都港区六本木 5 丁目 18-17 化成品会館 TEL 03-3586-9761)

財団法人日本規格協会

(〒107-8440 東京都港区赤坂 4 丁目 1-24 TEL 03-5770-1573)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会(部会長 杉浦 賢)

審議専門委員会：化学製品技術専門委員会(委員長 宮入 裕夫)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 標準課産業基盤標準化推進室
(〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1 丁目 3-1)にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

まえがき

この規格は、工業標準化法第 12 条第 1 項の規定に基づき、日本プラスチック工業連盟(JPIF)／財団法人日本規格協会(JSA)から、工業標準原案を具して日本工業規格を制定すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が制定した日本工業規格である。

制定に当たっては、日本工業規格と国際規格との対比、国際規格に一致した日本工業規格の作成及び日本工業規格を基礎にした国際規格原案の提案を容易にするために、ISO 11403-3 : 1999, Plastics—Acquisition and presentation of comparable multipoint data—Part 3 : Environmental influences on properties を基礎として用いた。

JIS K 7141-3 には、次に示す附属書がある。

附属書 A(参考) 試験要求事項に関連する情報

附属書 B(規定) 耐薬品性及び耐環境応力き裂の試験方法に用いる薬品

JIS K 7141 の規格群には、次に示す部編成がある。

JIS K 7141-1 第 1 部：機械的特性

JIS K 7141-2 第 2 部：熱的及び加工特性

JIS K 7141-3 第 3 部：特性への環境影響